

第3回デフリンピック大会運営にかかるアスリート会議議事要旨

- 1 開催日時 令和5年10月24日（火曜日）19時から20時30分まで
- 2 開催場所 テレコムセンタービル東棟20F 会議室
- 3 出席者 竹川寿美子委員、根木慎志委員、ヨーコ ゼッターランド委員
(オブザーバー：東京都聴覚障害者連盟)

4 会議内容の概要

- (1) 開催基本計画についての意見交換
- (2) その他

【委員の主な意見】

- ・ 東京2020大会のような大会独自のスポーツピクトグラムは作成しないのか。ピクトグラムがあった方が分かりやすいし、話題にもなるので、作成の可否も含めて、ぜひ検討してほしい。
- ・ 過去大会では、マスコットがいることで、選手団が盛り上がっていることがあったため、既存のマスコットを活用する方法も含めて、東京大会にも導入してはどうか。
- ・ 第6章の標題で使用している、「応援」について、「応援」だと応援する人、される人で別れてしまう。「大会を一緒に盛り上げる」という意味を込めるため、「応援」よりは、「盛り上げる」とした方が良いと思うので、改めて検討してほしい。
- ・ アスリートにとって、「応援」という言葉は、モチベーションをあげる非常に重要な意味を持つ言葉でもある。
- ・ 第5章にある「シンプルだが心に残る大会」という記載について、大会がシンプルであることは非常に良いことだと思う。「だが」とすると、ネガティブに捉えられかねないので、「シンプルで」という記載にした方が良いのではないか。
- ・ デフリンピックスクエアという名称について、「スクエア」という表現は、前回大会から使用され、手話言語にもないというが、東京2025デフリンピックでも使用し、今大会以降定着していくよう仕向けていけば良いのではないか。定着していけば、「スクエア」という新しい手話もできるのではないか。